

きら☆サポ通信

発行：富士見丘小学校学校支援本部

平成27年7月17日 No.4

「きら☆サポ」とは、「きらきらひかる子供たち」を支える「きらきらひかるサポーター」という意味を含めた富士見丘小学校 学校支援本部の愛称です。

【7月の学校支援本部活動を紹介します】



学校のまわりで、たくさんの発見がありました

7月2日、3年生の「地域めぐり」に引率補助として協力しました。グループに分かれ訪れたのは、久我山病院、久我山青光学園、ゆうゆう館、浴風会、神田川、玉川上水、芦花公園商店街の7箇所。保護者の方と一緒に各グループに付き添い、行き帰りの安全に気を配りました。身近な場所、施設ですが、実際に足を運び、お話しを伺い、たくさんの発見がありました。ボランティアの大人にとっても、有意義な体験になりました。



土曜授業にゲストティーチャー

7月4日は4年生が地域の方から戦争体験をお聞きしました。小学校1年生で群馬県に疎開し、言葉が違って馴染めなかったこと、いつもお腹をすかせていたことなどのお話しを、みんな真剣に聞きました。戦前の通知表や、切手、ハガキ、家計簿など貴重な資料も見せていただきました。物資の不足は、様々なモノの変化に見て取れます。ハガキのサイズが小さくなり、作りも粗雑になっていきます。切手の絵柄ひとつからも、時代の雰囲気を感じることができました。潜水艦に乗っていたおじさん二人が、24歳と26歳で亡くなり、お骨もなかったという話を、4年生はどう受け止めてくれたのでしょうか。当日は多くの保護者の参観もあり、授業後は何人もの方が直接ゲストに感想を伝えていたのが印象的でした。



移動教室の様子をブログで発信するために

7月13日から15日、5、6年生富士学園移動教室の速報がブログ（富士見丘小ネットワーク）に掲載されました。現地からの情報を随時お伝えしたいという学校からの依頼を受け、ホームページのトップページにリンク用のバナーを作りました。校長先生が毎日の様子をアップしてくださいました。5、6年生の楽しそうな様子が伝わってきましたね。



「きら☆サポ基金」にご寄付をいただきました

このたび、地域の方お二人から、「きら☆サポ基金（富士見丘小学校学校支援本部教育基金）」にご寄付がありました。心より感謝いたします。学校支援本部の活動は杉並区教育委員会から学校規模（児童・生徒数）に応じて支給される分担金でまかなわれていますが、活動が充実するにしたい予算の確保が課題となってきました。教育基金はそれを補うための大切な財源です。

【7月の花マル先生活動日】3回

【7月の基礎基本タイム丸付け】2回

【学校支援本部】メールは→fujimishoushien@bz03.plala.or.jp

電話・FAXは→03-5941-8967

「きら☆サポ通信」は富士見丘小学校学校支援本部の活動をお伝えします。